

## 平成25年度 決算説明書／事務事業評価シート

課名　社会教育課

予算	決算書			目名	事業名称
	款	項	目		
10	5	1	294 頁	社会教育総務費	社会教育総務事業

## 1. 概要

目的	豊後大野市の社会教育推進のため、社会教育委員会を開催し、社会教育計画を策定する。社会教育委員としての資質向上のため各種の学習会への参加及び先進地研修等の実施。並びに社会教育促進のため社会教育指導員を雇用し、事業を実施する	対象	社会教育委員及び社会教育指導員、社会教育関係団体
事業概要	<p>○社会教育総務事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会議を年2回定例会を開催し、社会教育計画の検討及び承認。</li> <li>・社会教育委員の各種研修会(九州地区研究集会1回、県連絡協議会研修2回、豊肥地区合同研修会1回)へ参加した。</li> <li>・豊後大野市の独自研修会を1回開催した。</li> <li>・社会教育指導員を清川、緒方、朝地、大野、千歳、犬飼公民館に各1名配置し、社会教育事業の推進に努めた。</li> <li>・社会教育団体(PTA連合会、女性団体、青少年団体)に補助金を交付し、活動の支援に努めた。</li> </ul>		

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	社会教育の推進		目標年度	H27	指標の設定理由			
		数値	—			総合計画／後期基本計画において、基本施策(5-1-1)の重点施策としているため			
活動指標	指標	a	社会教育委員会議の開催	b	社会教育委員研修	c	社会教育計画の策定	d	
		数値	目標	目標	4回	目標	1件	目標	
2回		4回		1件		目標			

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
社会教育の推進	—	—	—	—
	—	—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 社会教育委員会議の開催	回	2回	2回	2回
		100.0%	100.0%	100.0%
b 社会教育委員研修	回	6回	6回	5回
		150.0%	150.0%	125.0%
c 社会教育計画の策定	件	1件	1件	1件
		100.0%	100.0%	100.0%
d		—	—	—
		—	—	—

## 4. 課題と対応

課題
地域での公民館活用及び公民館クラブ生の新規加入も減少傾向にあり、公民館が地域住民の生涯学習の場として存在が薄れています。
対応（改善点等）

地域住民がもっと積極的に公民館を有効活用するため、組織機構を含めた公民館のあり方を検討する。

## 5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		16,650	16,561	14,452	15,197
うち経常経費		16,650	16,561	14,452	15,197
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	16,650	16,561	14,452	15,197
	うち経常	16,650	16,561	14,452	15,197
事業費に係る人件費		5,590	1,718	1,308	1,774
事業費に係る人役		1.30	0.40	0.30	0.40

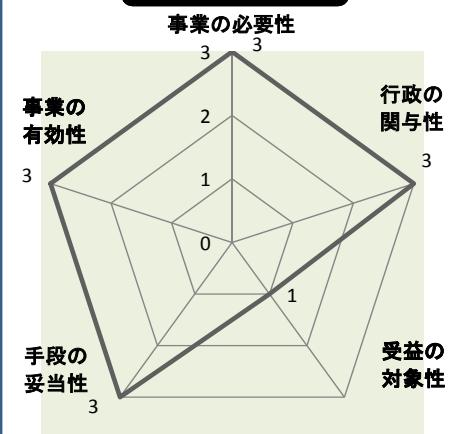
## 7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	地域住民が心安らかに住みやすい地域の確立には、生涯学習の推進及び社会教育の促進は重要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	社会教育法等により行政が実施主体となり、地域住民の支援と事業推進に努めなければならない。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1	社会教育委員に関する経費及び社会教育指導員報酬が主な経費である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	社会教育委員会議の開催で社会教育計画が策定され、事業計画が決定するため適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	毎年の社会教育計画により、各種事業が実施されている。

## 6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由 社会教育指導員の配置の見直し。

## 分析グラフ



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	引き続き、支所機能を含め、社会教育及び公民館のあり方について方向性を検討すること。